

10203織物業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発 生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起 因 物 (小)	労 働 者 規 模
1	2020	1	10 ～ 11	工場内で、織機のレピアバンドを交換して調整を行っていた際、スライドレピアという部分が左手に当たり、甲と中指を骨折した。	72	6	169	1～ 9
2	2020	2	8 ～ 9	施設場内で、出荷用のマフラー生地200枚入りの段ボールケースを、積んで並べる作業を指示していた際、押されて動いてきた段ボールに当たって転倒し、左手をついて手首を骨折した。	66	6	611	10 ～ 29
3	2020	3	5 ～ 6	織布工場内コンプレッサー室で、エア配管バルブの開放を終えて退出しようとした。その際、近くにあったレシーバータンクの安全弁に激突し、頸部を捻挫した。	35	3	312	100 ～ 299
4	2020	3	11 ～ 12	2tトラックで、荷崩れ防止用のロープを掛けている際、ロープが外れ、反動で後ろに倒れ、左手をつき、左手環指を骨折した。	42	2	379	10 ～ 29
5	2020	3	11 ～ 12	工場内で管巻作業中、糸の入った段ボールを動かしたときに左足に落として骨折した。	56	6	611	30 ～ 49
6	2020	5	15 ～ 16	工場倉庫通路で鉄板（1枚20kg）を5～6枚積み重ねて、キャスター付きの平台で移動させた。そのとき、手すりや柵のない平台なので、中腰になりじかに手で鉄板を押していたところ、鉄板がずれて崩れそうになった。その際、被災者も転倒しそうになり、バランスを取ろうと前に踏み込んだところ、鉄の角に右足首を強打して裂傷	40	3	521	30 ～ 49

				を負い、傷の中で炎症が起き、蜂窩織炎を発症した。				
7	2020	6	10 ～ 11	工場整経課で糸のセッティング作業中、高さ50cmほどのベンチ様作業台から下りる際、横にあったハンドリフトに載った、段ボールの蓋が空けてあったため、蓋に足が当たり体勢を崩して転落し、左膝を床に強く打ち付け骨折した。	69	1	419	30 ～ 49
8	2020	6	9 ～ 10	単車で帰社途中、道路を走行していた際、左折進入してきた乗用車と接触し、転倒して腰椎を骨折した。	31	17	231	10 ～ 29
9	2020	8	9 ～ 10	サイジング機械前部で、糸巻取り準備中、電源コードに足が引っ掛かり、つまずき転倒した。その際、調整ハンドルに左胸部を打ち、左肋骨を折った。	76	2	417	10 ～ 29
10	2020	9	10 ～ 11	足がもつれ織機と織機の間に倒れ、右肘を鉄柱に強打し、右肘頭を骨折した。	55	2	911	10 ～ 29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。